

事実婚 私たちの満足／NHK受信料の使い方

AERA

'05.2.14

No.8定価360円

アエラ

歌手 平原綾香

築き、勉強会を重ねてきたことが、「教育基本法」でも威力を発揮した。

「うちの会長で声明を出しても、あまり効果がないので、議長名で政府に意見書を出してもらおう。国民の共感をえて、議会に理解を求める。旧来の右翼運動とは、考え方も運動方法も違います」ともすれば、尖った一つの声に捨て置かれかねない自分たちの意見を、議会という民主主義のシステムを通じ、国民の国民の世論へと高める、そういうことなのだろう。

日本会議は、故郷敏郎氏の「日本を守る国民会議」などが97年に統合した組織だ。会長は三好達元最高裁長官で、新憲法制定を掲げている。「正しい日本の戦争展」「軍歌まつり」といった復古色の強い催しを支部幹部が行う地域もある。

ナショナリストと呼ばれるのは嫌
愛国者はほめ言葉

日本会議熊本を訪ねた。迎えてくれたのは、理事長の多久氏のほか、事務局局長ら3人。会員は、小泉訪朝以降、周囲の理解が急速に広がった様子を異口同音に語り、手応えを感じていた。

昨春の大学卒業と同時に専従職員になった男性はこういう。

「ノンポリの兄でさえ、靖国などで、中国に何でいわれなくちゃいけないんだ、と普通の感覚をもつようになった。拉致、サッカーアジア杯の騒動で、国民の意識は変わりつつあると実感しています」

大学時代、日本文化を学ぶサークルで保守的な思想に触れ、運動に飛び込んだ。学生時代に催した拉致の講演会の参加者

たくなる。愛国者というのなら、ほめ言葉なので問題ないです」(男性職員)

民主主義のルールに従い、議会に理解を求める地道な運動なのに、「右翼」のレッテルをはられてはたまらない、行動右翼の運動参加は、国民の共感をえるうえで障害にこそなれ、プラスにはならないと解説する賛同者もいる。

彼らの会話にはかなりの頻度で「普通」が当たり前に「常識」といったフレーズが飛び交う。普通の人が常識で考えて、当たり前にする運動、とことさらに強調しているような印象を受ける。

昨秋、ネット世論が、実社会をゆるがす「事件」があった。南京虐殺を描いた集英社・週刊ヤングジャンプの「国が燃える」(本宮ひろ志作)が抗議をうけ、一時休載に追い込まれた一件だ。

漫画は昭和初期の若い官僚の半生を描いた作品で、昨年9月16日と22日の発売号が問題とされた。南京で旧日本軍の少尉2人が、民間人に紛れ込んだ中国兵を並ばせ、次々と切る場面や、女性の下半身をむきだしにする場面もあった。

「真偽不明の写真を参考に描いている」「歴史の歪曲、捏造だ」

「政治的な意図はなんだ」

ネットでこんな批判の声が上がり、政治家までまきこむ騒動に発展。同誌は11月に釈明文を掲載し、計21ページを削除・修正して事態を収拾させた。

「本宮さんは少年自衛官の先輩で親近感もあったんですが、漫画はあたかも戦争の真実として描いた。許せません」

こう話すのは、ネットで問題を知り、「地方議員の会」を結成した東京・大田の大伏秀一氏。同社に抗議した。

「あの漫画はフィクション」という回答

は約50人だったのに、いまは倍だ。社会の関心の高まりを実感している。

事務局長の女性も続けた。

「少年犯罪の多さも契機になった。戦後の、日教組の教育がいかに日本を悪くしたか、そう感じる人々が増えました」

そして、丁寧な口調ながら、朝日新聞などの論調を厳しく批判した。

「いまの日本が左に傾きすぎているから、私たち中道が右翼といわれる。国を愛する気持ちを語るほど、右翼だという。当たり前前のことを話すと、ナショナリズム

だという。国を愛せないのなら、何で日本に住んでいるんですか」

ちなみに朝日新聞社は思想集団じゃないので、とクギを刺すと、

「そんなことないでしょう! みんな共産党員だと思っっていますよ!」

他の人も、「右翼」「ナショナリスト」に強い違和感を感じるといふ。

「右翼といわれるのはイヤ。黒い車に乗って、あの人たちが、何って思っていますから」(女性会員)

「ナショナリストと呼ばれると、反論し

がくるまでの10日間、2000通のメールが届きました。ほとんどは激励。『世論は真つ当だ』って思っていたら、区議会の誰もこの問題を知らなかった」

公明党区議は、赤旗に載った「南京大虐殺の漫画に圧力」という記事中に大伏氏を見つけ、声をかけてきた。世論に敏感な同僚が新聞記事を見るまで、漫画の存在すら知らないことに驚いた。ネットでは大議論になっていたのに、だ。

「ネットは世論のかなり大きな部分と想ってきたけれど、実際には、ネットに非



「つくる会」は冊子で、「学校で歴史の勉強をすると、自分の国を尊敬できなくなる」と訴える

常にかきおくグループと、まったくかわらずに生きている人々が、現実社会に併存している。今回はまさにネットから出てきた世論だけれど、これは大多数ではない。必ずしも、世論とはいえないのか、不安になりましたね」

ネットという別世界。大伏氏はそれに押されて抗議に動いたわけでもないし、主張がぶれたわけでもないが、そこには、過激で極端な世界がある。

本宮漫画を読んだ秦郁彦(はたけひこ)日大元教授(日本近代史)はこんな感想をいう。

「新しい歴史教科書をつくる会」の集会にたくさん人が集まっているとか、インターネット掲示板には右翼的な発言が数多く書き込まれているといったことについて、あまり過大評価すべきではないと私は考えています。

私が受け持っている近代史の講義を見る限り、明らかに右派的なことをアンケートの回答に書いてくる学生は100人のうち1人か2人。また、世間で産経新聞の購読率は4%ぐらい。しかも、一番値段が安い新聞という理由で読んでいる人もいる。これらを考えあわせると、確信的に「つくる会」を支持する人々は2、3%程度ではないか。全人口比からすれば大した数とは思いません。

ただし地方の自民党などが、「つくる会」の教科書を採択させることが、自分たちの勢力を示すシンボリックな意味をも

現在の閉塞状況を憂い、未来を模索しようという議論が高まるのは無理もないですが、最近の憲法改正や海外派兵、愛国心をめぐる議論には、憲法や自衛隊そ

「抗議運動が起こったのは当然として、ネット論争は、虐殺が『あった』『なかった』の両極端に分かれてしまっって、中間派で4万人説の私などは居場所がない感がある。ネットでは過激な方がうけるんではないか」

ネットの世界のクチ・ナショナリズムノ一といえない空気

昨春、イラクで男女3人の人質事件が発生した際、国内を席巻した自己責任論。この論調を批判したジャーナリスト、江川紹子さんには、多い時には一日500通もの批判や非難だけでなく、ウィルスメールも届いた。

「子が殺されそうな親が平静でいられないことへの想像力がどこへ行ったのか。現実って複雑なのに、小泉首相の影響もあってワンフレーズとか、強く短い言葉にすぐ反応する。自己責任といってもイメージは人それぞれでしょう」

正か悪か。シンブルさがうけ、強く短く言えない人々はモノを言にくい世の中になっている、と江川さんは考える。

「愛国心という言葉も強く短い。私も文字面だけなら悪いと思わない。ただ、国を愛するとは、時の政府がやっていることを愛することになったところがある。それを旗印にすることは非常に危ない。でも、こう説明すると、まどろっこ

つと見なすようになってきたのは軽視できません。大衆運動としての「つくる会」はピークを過ぎたと思いますが、自民党をはじめ既存の保守団体との連携が強まっているとしたら、新しい動きでしょう。だからといって、それを過大にとらえ、この4年間で日本全体がナショナリズムの高まりを見せたのか、といえば、イコールでは結べないと考えています。

例えば、憲法も、6割から7割が改正に前向きだと世論調査では結果がでるわけですが、それも過大に評価すべきではないと思うのです。なぜなら、第9条の改正に賛成かと思えば、6割ぐらいは必要ないと答える。総合して考えると、社会の閉塞状況に対して、「何らかの改革が必要だ」と思っけれど、どこを変えたらよいのか分らない、それが民意ではないでしょうか。それを見誤って、政党などがある特定の方向に引張って改憲するのは、民意と沿わないと思います。

昨春、私が公述人として出席した衆院憲法調査会公聴会では、教育問題や少年犯罪に関連して「愛国心という言葉は憲法前文に」といった政治家の意見もありました。でも、教育が心配なら、憲法・教育基本法を動員した愛国心教育よりは、「20人学級」のような具体策の方が有効なはず。もし、愛国心を大切にすれば少年犯罪が減るのなら、米国では少年犯罪がとて少ないはずでしょう。

の他をめぐって戦後史の無理解に基づくものが少なくありません。ムードだけで議論しては、実りある結果は得られないと思います。

「誇りをもて」という雑誌にひかれるのも、シンブルだから。強いことを言うのではなく、自分が強くなった気がするのではない。特にネットの世界には、行動を伴わない口だけのクチ・ナショナリズムが多いけれど、ノ一と言いつらい雰囲気や醸成していくから問題。それで、何かやるぞという人が高揚してくると、暴力に結びつく危険性もある」

首相の靖国参拝中止を求めたことで右翼の抗議をうけていた富士ゼロックスの小林陽太郎会長宅に、先月、火炎瓶が投げ込まれたのに続き、実弾が郵送される事件が起きた。思想事件を扱う警視庁公安部が捜査を担当し、事態を重く見た政財界首脳や報道機関は一斉に非難したが、ネット上には犯行を肯定する書き込みさえある。

《まあ、身から出た錆(さ)ということもある。まだ殺された訳じゃないし》

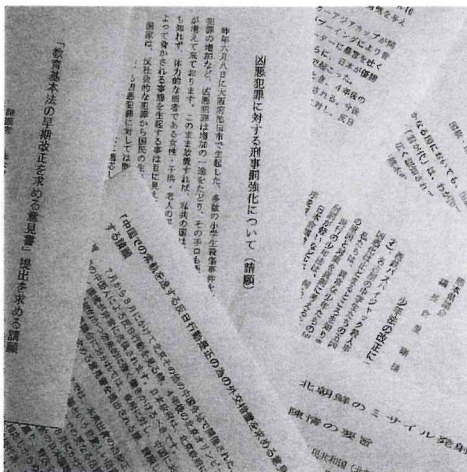
《利敵行為は慎みたまえ》

《だから右翼に狙われる》

すべてに、強くて短い言葉が好まれ、果てには、言葉が放棄された問答無用の暴力まで許してしまう。

小林氏の発言は、首相の立場は尊重することとわったうえで、中国側の国民感情も考えなくてはならないという慎重な言い回しだったのだが。

「意見書採択を議会に求めることで、地方議員の意識が国家と直結する」と日本会議熊本の多久理事長はいう



「意見書採択を議会に求めることで、地方議員の意識が国家と直結する」と日本会議熊本の多久理事長はいう

小宮英二(こみやへいじ)慶応大助教授に聞く
「つくる会」もネットの右翼的発言も過大評価すべきでない

おぐま・えいじ／著
慶応大助教授。共著
「(癒し)のナショナリズム」に集う
人の心理を分析した

photo 水村 孝

つと見なすようになってきたのは軽視できません。大衆運動としての「つくる会」はピークを過ぎたと思いますが、自民党をはじめ既存の保守団体との連携が強まっているとしたら、新しい動きでしょう。だからといって、それを過大にとらえ、この4年間で日本全体がナショナリズムの高まりを見せたのか、といえば、イコールでは結べないと考えています。

例えば、憲法も、6割から7割が改正に前向きだと世論調査では結果がでるわけですが、それも過大に評価すべきではないと思うのです。なぜなら、第9条の改正に賛成かと思えば、6割ぐらいは必要ないと答える。総合して考えると、社会の閉塞状況に対して、「何らかの改革が必要だ」と思っけれど、どこを変えたらよいのか分らない、それが民意ではないでしょうか。それを見誤って、政党などがある特定の方向に引張って改憲するのは、民意と沿わないと思います。

昨春、私が公述人として出席した衆院憲法調査会公聴会では、教育問題や少年犯罪に関連して「愛国心という言葉は憲法前文に」といった政治家の意見もありました。でも、教育が心配なら、憲法・教育基本法を動員した愛国心教育よりは、「20人学級」のような具体策の方が有効なはず。もし、愛国心を大切にすれば少年犯罪が減るのなら、米国では少年犯罪がとて少ないはずでしょう。

の他をめぐって戦後史の無理解に基づくものが少なくありません。ムードだけで議論しては、実りある結果は得られないと思います。

「誇りをもて」という雑誌にひかれるのも、シンブルだから。強いことを言うのではなく、自分が強くなった気がするのではない。特にネットの世界には、行動を伴わない口だけのクチ・ナショナリズムが多いけれど、ノ一と言いつらい雰囲気や醸成していくから問題。それで、何かやるぞという人が高揚してくると、暴力に結びつく危険性もある」

首相の靖国参拝中止を求めたことで右翼の抗議をうけていた富士ゼロックスの小林陽太郎会長宅に、先月、火炎瓶が投げ込まれたのに続き、実弾が郵送される事件が起きた。思想事件を扱う警視庁公安部が捜査を担当し、事態を重く見た政財界首脳や報道機関は一斉に非難したが、ネット上には犯行を肯定する書き込みさえある。

《まあ、身から出た錆(さ)ということもある。まだ殺された訳じゃないし》

《利敵行為は慎みたまえ》

《だから右翼に狙われる》

すべてに、強くて短い言葉が好まれ、果てには、言葉が放棄された問答無用の暴力まで許してしまう。

小林氏の発言は、首相の立場は尊重することとわったうえで、中国側の国民感情も考えなくてはならないという慎重な言い回しだったのだが。

「意見書採択を議会に求めることで、地方議員の意識が国家と直結する」と日本会議熊本の多久理事長はいう

小宮英二(こみやへいじ)慶応大助教授に聞く
「つくる会」もネットの右翼的発言も過大評価すべきでない

おぐま・えいじ／著
慶応大助教授。共著
「(癒し)のナショナリズム」に集う
人の心理を分析した

photo 水村 孝